

# CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)福知山駅前計画新築工事	階数	地上15F
建設地	京都府福知山市	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	476 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2021年2月 予定	評価の実施日	2019年5月20日
敷地面積	2,970 m <sup>2</sup>	作成者	長谷工Co. 小嶋
建築面積	857 m <sup>2</sup>	確認日	2019年5月20日
延床面積	9,968 m <sup>2</sup>	確認者	長谷工Co. 荻山



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%  
②建築物の取組み 79%  
③上記+②以外の 79%  
④上記+ 79%

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.2

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.6

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.2

#### Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア = 2.7

### LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.9

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 2.2

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.5

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		その他
総合 周辺の自然環境に配慮しながら耐久性の高い設備を採用し居住性を高めた計画を行っている。		
Q1 室内環境 室内環境向上を目指し断熱性能の向上や遮音対策等を施している。	Q2 サービス性能 居室は、標準的なベッド等の家具を配慮できる程度の広さを確保し、天井高は2.4m以上とする設で機能的に優れた計画としている。	Q3 室外環境 (敷地内) 敷地内に緑地を配置することで、周囲環境に対して良好な景観となるよう配慮している。
LR1 エネルギー 設備システムを効率化し、省エネルギー化に配慮している。	LR2 資源・マテリアル 有害物質を極力使わない計画とした。	LR3 敷地外環境 LCCO <sub>2</sub> の排出量を低くするよう努め、地球温暖化に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される